

道工大・佐鳥助教授ら

大樹で人工衛星製造

ベンチャー企業設立へ

天樹道工大の佐鳥新・助教授らは8月末、大樹町内で人工衛星を製造するベンチャー企業を立ち上げる。主に農業分野での活用を目指す。特殊カメラを搭載する衛星からのデータで、作物の適切な刈り入れ時期を把握し、効率よく農作業を進めるなど、さまざまな利用を想定。衛星以外にも、宇宙産業と農業の接点となるビジネスの創出を視野に入れる。町にとっては初の宇宙関連企業の誘致となり、「大変喜ばしい。航空宇宙による町の活性化に弾みがつく」(大井英則助役)と期待している。

「宇宙のまち」を掲げ、ツトフォーム計画など国実験の誘致に成功しておる大樹町は、成層圏フラーレベルを含めた航空宇宙通り、施設面や自治体の協力を、起業には最適地と判断した。

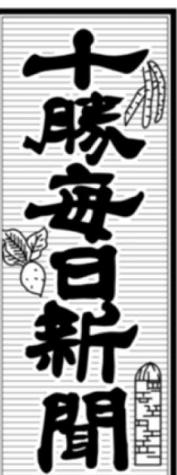
新企業は、由から株式会社を設立できる制度を

活用。資金は50万円ほどを予定している。名称は「北海道衛星(仮称)」で、佐鳥助教授が社長に就任する。

佐鳥助教授は、道内の大学や研究機関などと共に開発した小型人工衛星(重さ約50g)の打ち上げを2006年に計画中(打ち上げはロシアなど)を予定。

新企業が本格的に活動を始めるのは同衛星の最終的な組み上げが始まる同年ごろとなり、その後に博士号を持つ研究者を3人ほど雇用する予定だ。

企業の設置場所や建物



発行所
十勝毎日新聞社

©十勝毎日新聞社 2004

〒080-8688

帯広市東1条南8丁目

TEL(代表)0155-22-2121

編集局 0155-22-2121

広告局 0155-23-2323

販売局 0155-24-2222

事業局 0155-22-7555

統務局 0155-24-2299

広尾支局 01558-2-4111

池田支局 01557-2-2367

本別支局 01562-2-2618

新得支局 01566-4-5524

札幌支社 011-261-2161

東京支社 03-3544-1365

の規模は未定だが、町は「うなぐ協力は惜しまない」(大井助役)としている。「使われていない公共施設を有効に活用してもらいたい」と話している。佐鳥助教授は「大樹明し、新会社への出資など